

耕作放棄地から始めるわさびへの挑戦（小山町）

R8.2.16訪問



お名前	井上 光樹さん
就農した時期	2023年10月（就農3年目）
栽培品目	わさび
栽培面積	20a
販路	わさび問屋
働き手	本人



■ 就農したきっかけ

わさび問屋に就職してわさび栽培をする中で、自分のわさび田を持ち、苗植えから生産・販売まで一貫してやってみたいと思い就農しました。

■ 活用した支援策等

「新規就農者育成総合対策」のうち「経営開始資金」と、日本政策金融公庫の「青年等就農資金」を活用しました。

■ 就農して苦労したこと

圃場や機材等を持っていなかったため、就農時に農地中間管理機構から3aのわさび田を借り、現在は20aまで拡大しています。一方で、希望する好条件の圃場を借りることは容易ではなく、取得には時間と労力がかかっています。

■ 工夫したこと

高温対策に関する研究発表で、寒冷紗※は黒色に比べて白色の方が、熱の反射性や光の透過性で優れると聞き、就農初期の資材準備では白色寒冷紗を採用しました。段々になっているわさび田には、足場となる単管パイプの階段を自作で作成しました。

※寒冷紗：作物を日射や熱、風等から守る農業資材

■ 今後取り組みたいこと

今後は、小山町を代表するわさび品種である「真妻」を、より品質を高めて栽培し、消費者に届けたいです。

栽培が始まるとわさび田に葉が茂る

